

参考資料) プラン (案) のイメージ

< 1階 >
↔ 子ども・子育て世代
↔ その他市民

■わくわくの広場



- 置き畳で茶道や華道などの体験ができるようにし、畳文化を子どもやインバウンド観光の方に提供する。
- 鯖江らしい眼鏡を作るワークショップなどの体験を提供する。



■やさしさの小部屋

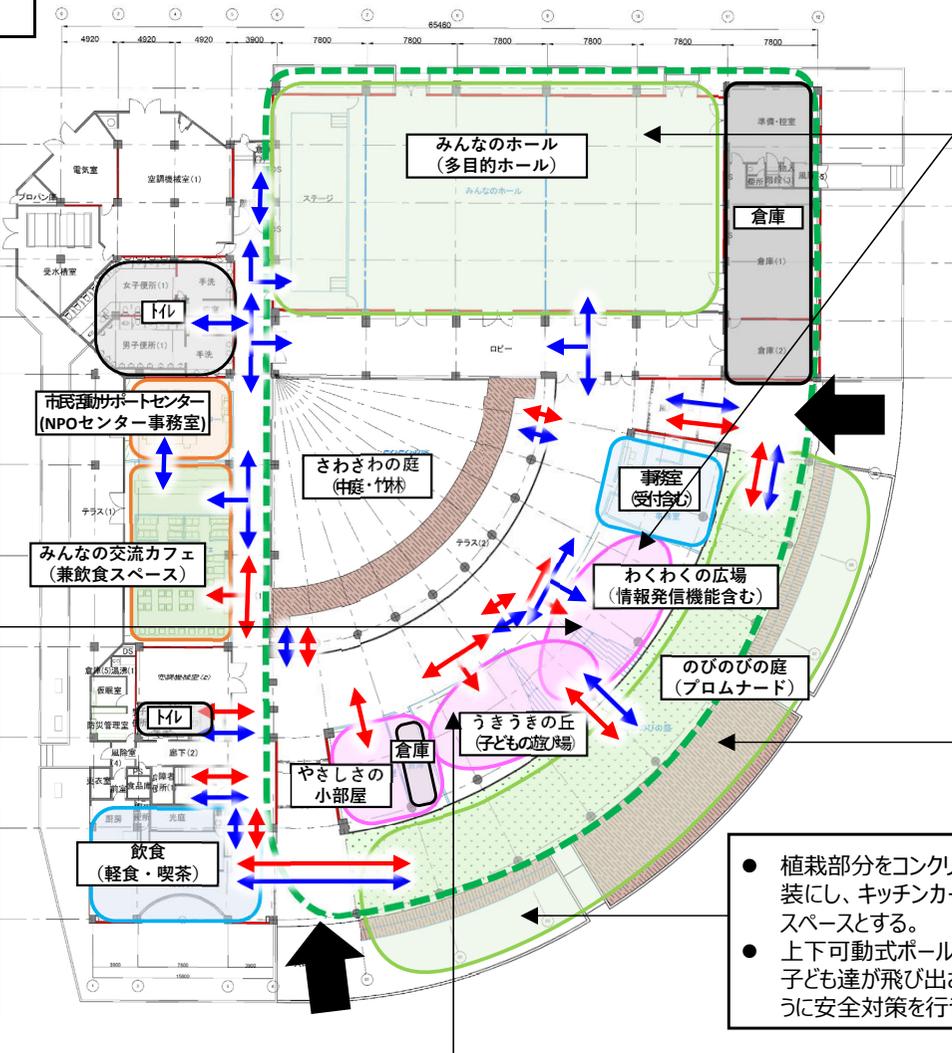


- 家族で利用できる、子どもトイレ、おむつ交換コーナー、授乳室

■うきうきの丘



- 階段状の部分に滑り台やロッククライミングなど体を動かして遊べる空間を用意する。
- 階段状の部分に絵本や積み木などのおもちゃがあり自由に遊ぶことができる。
- 可動式遊具を設置することで遊び空間に変化をもたらし、いつ来ても楽しい、遊べる場所とする。



■みんなのホール及びわくわくの広場



- 間仕切り、パーテーションを活用しながら展示を可能とする。

■のびのびの庭 (プロムナード)



- 軒下を明るいイメージにし、子ども達に居心地の良い空間を提供する。
- 人工芝・デッキ等裸足で子ども達が走り回れる環境を提供する。
- 子どもの安全防止柵も楽しい雰囲気、遊びの一つとなるようなものを設置する。

- 植栽部分をコンクリート舗装にし、キッチンカーを置くスペースとする。
- 上下可動式ポールにより、子ども達が飛び出さないように安全対策を行う。



< 2階 >

■大会議室

- 控室として、天井にレールを整備することにより、カーテン間仕切りで個室を確保する。



■中会議室

- 移動式間仕切りにより会議室を分けることで、小さな会議や小規模な体験イベントに対応できる。



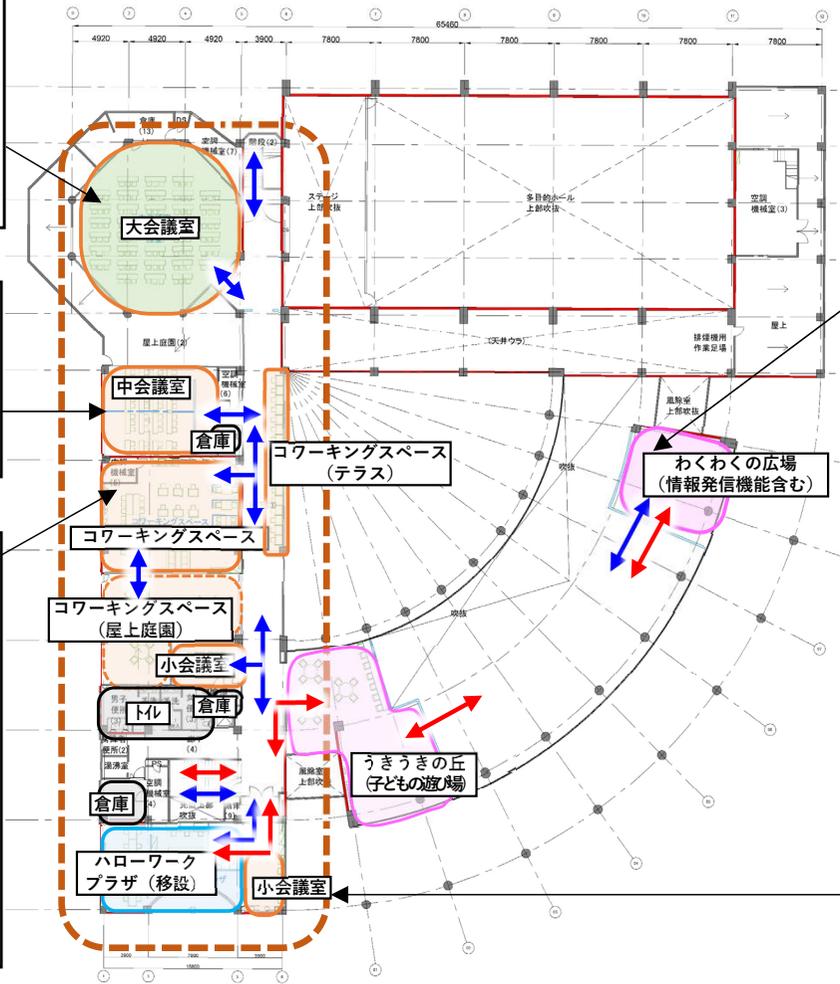
■ワーキングスペース

- オープンなスペースでは共同作業ができ、個別ブースも用意することで集中した作業にも対応できるように配慮する。
- 貸しロッカーを整備し、定期的にご利用する利用者の利便性に配慮する。



■うきうきの丘

- 高さを活かした設えとする。
- 誰もが利用できるスペースとし、2階への動線はEVやスロープ等を組み合わせる。



■わくわくの広場

- 上部空間より、子どもたちの遊んでいる様子を見守りながら保護者も体験・交流活動ができる空間とする。
- 展示や様々な活動を見せることで市民活動等に興味を持ってもらえる空間とする。
- 階段形状は、イベント等の座席に活用できる。
- 踊り場ごとに各種活動のゾーン分けが可能となる。



- ハローワークの利用者の相談室や、ワーキングスペース利用者の小会議室として利用できる。
- 防音壁とし、プライベートに配慮する。

